

総務経済常任委員会会議記録（概要）

平成27年12月7日（月）

開 会（午前9時0分）

**【議 事】**

○議案第92号「所沢市職員の再任用に関する条例の一部を改正する  
条例制定について」

**【補足説明】** な し

**【質 疑】** な し

**【意 見】** な し

**【採 決】**

議案第92号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決  
する。

○議案第93号「所沢市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

議案第93号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第97号「所沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する  
条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

議案第97号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決  
する。

○議案第90号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第6号）」

当委員会所管部分（選挙管理委員会事務局）

【補足説明】なし

【質 疑】

福原委員

公職選挙法の一部を改正する法律が施行されることに伴ってシステム改修をするということで、他自治体においても同様にシステム改修が必要になると思うが、所沢市独自のものがあれば伺いたい。

川口選挙管理  
委員会事務局  
次長

この度の改修につきましては、所沢市独自のものというのはありません。

福原委員

168万円ということで、工数的に1人月以上の時間がかかっていると思うが、特に一番工数がかかるところほどの辺か。

川口選挙管理  
委員会事務局  
次長

特にどの工程に時間がかかるということはありませんでして、業者から示された工程等では、おおむね作業開始から2カ月程度かかるというようなことで伺っております。

福原委員

満18歳以上へと引き下げということで、市としてもさまざまな投票率

向上策を検討されていると思うが、このシステム改修に伴って、選管では来年の選挙に向けてどのように投票率の向上に取り組む考えなのか伺いたい。

川口選挙管理  
委員会事務局  
次長

今後、国や県等から指針的なものが示されてくるものと思います。また、このところで国が、高校生向けの副教材を全生徒に配布したところでもあります。それから、選挙管理委員会では現在、20歳の誕生日を迎えた新成人にバースデーカードを郵送し、選挙の大切さや棄権防止を呼びかけ、併せて投票立会人を募集するといったことを行っておりますが、これを18歳、19歳にするといったこともできるのではないかとということで、検討しているところです。

荒川委員

18歳、19歳の人も選挙の立会人になれるのか。

川口選挙管理  
委員会事務局  
次長

おっしゃるとおりです。

**【議案第90号 選挙管理委員会事務局所管部分質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時7分）

(説明員交代)

再 開 (午前9時10分)

○議案第94号「所沢市税条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】

荒川委員 地方税法の一部改正に伴うものということだが、なぜ条例化することになったのか、その辺の背景について伺いたい。

関口収税課長 自治体により徴収業務に差があることから、条例に規定することで平準化対応とするため、地方税法に定められたものです。

荒川委員 今までのやり方だと、不都合があったということか。

関口収税課長 国からの通知により、制度の活用を促進するとともに、滞納の早期段階で計画的な納付を確保する観点から、現行の猶予制度を使いやすくするとともに、的確な納付の履行を確保するためとされたものです。

島田委員 平成26年度の差押の件数は何件か。

関口収税課長 昨年度の差押件数は356件です。

島田委員 滞納者によっては、差押えた後に換価の猶予をしてもらった方が延滞金

がそれ以上ふえないのでいいという人も出てくるかと思うが、それについてはどのような考えなのか。

関口収税課長

猶予の期間については1年間とされていますので、その前に滞納等があった場合には対象外となりますが、猶予した期間については減免の対象となります。

荒川委員

分納についても、延滞金はかからないのか。

関口収税課長

延滞金については別に条例施行規則があり、そちらの方で減免等については規定をしております。

福原委員

この条例を改正する前は、職権でさまざまな対応をされていたと思うが、条例改正することによって、市としてどのようなメリット、デメリットがあるのか。

関口収税課長

これを制定することによりまして換価の猶予制度が促進され、的確な納税が得られるのではないかと考えています。デメリットは特にありません。

福原委員

的確な納税とは具体的にどういうことか。

関口収税課長 換価の猶予に当たりまして、1年間の期間の中で、しっかりした納付計画を立てることが要件となっておりますことから、的確な納付につながるということでもあります。

福原委員 国からの通知ということもあるが、職員の職権に対する考え方を統一するために条例化し、誰が見てもルールに基づいてやっているということを示すことがメリットではないかと認識している。それでは、過去3年間の収納率はどれぐらいか伺いたい。

関口収税課長 全体の収納率で申し上げますと、24年度の市税が91.29%、25年度が91.74%、26年度が91.78%です。

福原委員 県内においては、どういう位置付けなのか。また、今回、条例を改正したことによって収納率に変化はあるのか。

関口収税課長 26年度の5月末現在で、63市町村中56番目です。収納率に変わりがあるのかということについては、すぐには影響はないものと考えております。

福原委員 影響がないというのは、収納率の向上には寄与しないということか。

関口収税課長	直ちに収納率の向上に寄与するものではないと考えております。
荒川委員	63市町村中56番目というのは、滞納が少ないという意味か。それとも、収納率が低いということなのか。
関口収税課長	収納率が低いということです。
島田委員	差押件数は、県内ではどういう水準なのか。
関口収税課長	差押の件数は少ない方です。
島田委員	差押の件数が多い市町村は、年間でどのぐらいの件数なのか。
関口収税課長	自治体によりさまざまですが、1,000件を超える自治体もあります。 なお、本市におきましても、今年度は11月末で600件ほど差押を行っております。
松崎委員	1,000件というのは、人口の多い市町村か。
関口収税課長	平成26年度の実績では、越谷市や川越市などです。

島田委員

今後、所沢市としては差押を進めて行き、困った人には猶予制度を利用してもらおうという考え方なのか。

関口収税課長

そのような方については、猶予の申請があった場合には、実情を丁寧に聞き取りながら対応していきたいと考えております。

荒川委員

中には、明らかに悪質な滞納者もいると思うが、どれぐらいいるのか。

関口収税課長

悪質ということでは捉えておりません。

**【質疑終結】**

**【意見】** な し

**【採 決】**

議案第94号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第90号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第6号）」

当委員会所管部分（財務部）

【補足説明】なし

【質 疑】

福原委員

庁舎総合管理業務委託について、NTT所沢支局の建物及び駐車場の一部を市庁舎として借用することに伴ってということだと思うが、駐車場のオープンはいつ頃になるのか。

加藤管財課長

3月の初めから開設する予定であります。

福原委員

工事はいつ頃から開始されるのか。

加藤管財課長

内部についてはもう始まっており、着々と進んでおります。外構についても駐車場側は一部始まっております。全ての工事を相手方にやっていたくことになっておりますので、順次進めていただいております。

福原委員

車の出入り口の工事についてはどうか。

加藤管財課長

これからです。

福原委員

交通協議について、警察や関連する所管との協議は行ったのか。

加藤管財課長

まずは、実際の運用状況を見極めた上で判断しようと考えておりますので、現状では行っておりません。

荒川委員

徴収事務費について、申請によって見つかったということだが、これは申請がないと発見できないものなのか。

栗原資産税課  
長

建物につきましては建築のときに調査に入りますが、途中で内装を変えたといったものにつきましては、申請がないと発見できないのが実情です。土地につきましては、所有権移転や分筆などがあつたときに精査できますが、それ以外の部分については現状では調査は難しいものと考えております。

島田委員

地方交付税について、川越市と越谷市の当初の見込みと決定額を確認したい。

林財政課長

川越市につきましては、15億円の見込み額で交付決定額が14億7,464万1,000円であります。越谷市につきましては、33億円の見込み額で交付決定額が32億1,697万3,000円あります。補足させていただきますと、川越市と越谷市については下振れしております。

県内63市町村中、下回っているのは川越市と越谷市を含め5つだけで、それ以外の市町村については上振れしている状況です。

島田委員

所沢市は、当初9億円で決定額は17億円ということで上振れしており、他の多くの自治体でも上振れしているということだが、どのぐらい金額に差があるのか伺いたい。

林財政課長

普通交付税は基準財政需要額と基準財政収入額の差で求めますが、需要額の中にはなかなか予算編成のときには見込めないものがあります。そうした関係で、ほとんど予想と同じような自治体もありますが、かなり差が出ている自治体もあり、和光市につきましては不交付と見込まれていましたが交付団体になりました。また、久喜市については10億円ぐらい上に振れています。これはもう自治体によりまちまちでして、ぴたっと予想するのは非常に難しいというのが現状です。

島田委員

上に振れる額というのは、平均するとどのぐらいか。久喜市は約10億円ということだったが、これぐらいは普通のことなのか。

林財政課長

今年度につきましては、地方創生の関係で人口減少社会に対応する経費が新たに認められたという経緯があり、こちらについては今までなかった需要額であります。これが所沢市については約7億4,000万円認めら

れたということがありまして、ここを読むのがどこの自治体も難しかった  
と思います。例年どのぐらいの誤差が発生するのかというのは、何とも言  
えないところではありますが、今年度についてはそのところを予想する  
のが難しかったというのが実態です。

島田委員

逆に川越市や越谷市はほとんど誤差がないような感じだが、これについ  
てはどのように分析しているのか。

林財政課長

こちらにつきましては、なかなか難しいところがあります。さいたま市  
も当初予算額と交付決定額の差はほとんどないのですが、もう1つ臨時財  
政対策債がありまして、そちらを見ますと非常に大きなずれが生じてお  
り、額にすると50億円ぐらい下に振れています。ですので、こちらとし  
ても引き続き厳しく精査するようにいたしますが、これを当てるというの  
は非常に難しいところがあります。川越市などにノウハウを聞きながら進  
めてまいりたいと思いますが、なかなか正確に予測するのは難しいとい  
うのが実際のところですよ。

島田委員

難しいというのは説明を聞いていてわかるが、これだけ差が出てしま  
うと、予算編成の中で切られてしまう事業やしわ寄せがいく事業が出るの  
ではないかという懸念がある。その辺については、どのように考えているの  
か。

林財政課長

予算編成のときには財源もきっちり精査するわけでありますが、個々の支出につきましても、本当に必要なものかどうかということについて、厳密に精査をしております。そういった中で、議員御指摘のように、この分が当初から見込まれていればできたのではないかと懸念もごもっともではあるかと思いますが、財政課としましては必要なものについて、金額をつけていると考えているところであります。その一方で、交付税につきましても、28年度以降、なるべく差が出ないように見込んでいきたいと考えております。

荒川委員

地方創生の関係で人口減少社会に対応する経費7億4,000万円が新たに認められたということだが、具体的な歳出項目はどのようなものがあるのか伺いたい。

林財政課長

基準財政需要額は費目ごとに積み上げられ算定されていますが、人口減少社会につきましては、こういう費用を何費に充てるということではなく、人口減少社会についてこういうものですねということで額が一定程度示されているものであります。算定式は比較的人口が減っているところがプラスに出るように作られており、所沢市としますと地方に比べそれほど減っているわけではないので、この額についてはおそらくそんなにはもらえないものと見込んでおりましたが、意外なことに所沢市だけではなく埼

玉県内全体が比較的この分について算定されたということでもあります。

荒川委員

川越市はふえているのか。

林財政課長

川越市も所沢市も人口が大きく減っているというわけではないのですが、それでも川越市につきましては、需要額として6億6,000万円ぐらい見られております。人口が減っているということのほか、転出者がどのぐらいいるとか若年層が減る傾向にあるとか、そういった細かいところを見ているようです。ですから、単純に人口が減っている率だけを見ているわけではなく、項目は非常に多岐にわたっております。

荒川委員

結論として、川越市はこれぐらい見込んでいたということか。

林財政課長

地方交付税の総額がどれぐらいでどういう割り振りかというのは、非常に難しい判断であると思います。川越市がそれぞれの項目がぴたっと合っ  
て誤差が少なかったのか、もしくは人口減少はほとんど0で見ていたがほ  
かの需要額の関係でうまく合ったのかは何とも言えないところですが、こ  
の数字をぴたっと読むことは非常に難しいものと考えております。

荒川委員

臨時財政対策債について、不交付団体だった頃はあまり借りるなど言っ  
ていた。だが、今は交付団体なので可能額いっぱい借りるべきだと考えて

いるが、財務部ではどのように考えているのか伺いたい。

林財政課長

今年度につきましては、ほぼ発行可能額ぴったりを借りております。こちらにつきましては、その年々の財政状況に合わせて、必要な額を借り入れたいと考えております。

荒川委員

基準財政需要額で見てくれるということなので、実質的には第二の地方交付税みたいな位置付けで、他の建設公債などとは違うという理解でいいか。

林財政課長

基準財政需要額と基準財政収入額の差を交付税と臨時財政対策債に割り振っているような形ですので、これについては建設公債などとは違う性質を持っているというところがあります。しかしその一方で、交付税そのものが抑えられてしまいますと、こちらに思ったとおりに来ない可能性もあります。そうしたことも考えますと、借りないでも財政運営ができる時には、目いっぱい借りないという判断もあるものと考えております。

粕谷委員

国の地方財政計画の中で、普通交付税と臨時財政対策債の割合はどのぐらいで算出しているか確認したい。

駒井財務部次

平成27年度の予算で申し上げますと、地方交付税が16.8兆円、臨

長

時財政対策債が4.5兆円となっております。

**【議案第90号 当委員会所管部分質疑終結】**

**【意見・採決保留】**

休 憩（午前9時45分）

（説明員交代）

再 開（午前9時47分）

○議案第90号「平成27年度所沢市一般会計補正予算（第6号）」

当委員会所管部分

**【意見】**

島田委員

民主ネットリベラルの会を代表して、賛成の立場から意見を申し上げます。歳入の地方交付税について、質疑の中でも交付税の見込み額を予想するのは非常に難しいというような答弁がありました。しかしながら、川越市や越谷市のように、当初の見込みと決定額にほとんど差がない自治体もあるということも確認できました。これだけ見込み額に差が出てしまうと、予算編成の段階で切られてしまう事業も出てくるのではないかとといった懸念が生じます。そうしたことも念頭に置きまして、今後についてはなるべくそうした誤差が出ないように見込んでいただくことを求めまして、賛成の意見といたします。

**【意見終結】**

**【採決】**

議案第90号当委員会所管部分については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うことと決定した。

散 会（午前9時49分）

## 特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

平成27年第4回（12月）定例会

### 健康福祉常任委員会

- 1 地域福祉について
- 2 障害者福祉について
- 3 高齢者福祉について
- 4 社会保障について  
（低所得者支援・介護保険・国民健康保険・高齢者医療）
- 5 子ども支援について
- 6 青少年育成について
- 7 保健・医療について